

J I S Q 1 0 1 1 分野別認証指針				社 内 規 格 例																					
工程名	管理項目	品質特性	管理方法及び検査方法	マスターO. A 方式						マスターM. K 方式															
				工程	管理項目	検査頻度	検査方法	判定基準	不合格の処置	工程	検査項目	試験方法	頻度	時期	判定基準	不合格の処置									
3.練混ぜ	3'	3''	3'''練混ぜ 練混ぜ、強度、スランプ 又はスランプフロー、空気 量及び塩化物含有量	練 混 ぜ	練混ぜ 方法	二軸強制練りミキサによる (各材料放出後)とする					練 混 ぜ	練混ぜ 方法	・強制2軸ミキサによる練混ぜ ・材料投入順序 S → W(AD) → C → G	全バッチ	練混ぜ 開始時	設定通りであること ①コンクリート中のモルタルの 単位容積質量差 0.8 % ②コンクリート中の単位粗 骨材量の差 5 %	・不合格品は廃棄 する。 ・直ちに調整す る。 ・調整後、再検査 を実施し合格す るまで調整・検 査を繰り返す。								
	練混ぜ 時間	スランプ 8 cm以下…… 45 秒 スランプ 12 cm以上…… 30 秒																							
	練混ぜ 量	JIS 該当品…… 1.0 ~ 3.0 m ³ JIS 外 品…… 0.25 ~ 1.0 m ³ 未満 (いずれも 0.05 m ³ 毎)																							
	容積	1バッチ毎			目視	レベル棒を目安として おおよその量である こと	①練混ぜ量の設定誤りの場合は修正して出荷すること ②①以外は廃棄する ③製造を一時中止する ④品質管理責任者に報告する ⑤品質管理規定の特性要因図により原因調査を行い対策を講じる																		
					強度	1 回/日	※ JISA5308 9.2 強度 材齢 28 日 (H 7 日) 代表的配合(呼び強度 24) 呼び強度 24 がない場合、 任意の配合	1) 代表的な配合 X-Rs 管理図が安定状態にあること 2) 任意の配合 呼び強度の強度値以上であること	①品質管理責任者に報告する ②品質管理規定の特性要因図により原因調査を行ない、製品検査の結果を参照のうえ対策を講じる																